

名田庄トレイルコーディネート事業のKPIについて

別紙

1. KPIについて

名田庄トレイルコーディネート事業は、国の地方創生推進交付金を活用しており、交付金の実施計画（R3～5）では、①「八ヶ峰家族旅行村」と「ホテル流星館等」の既存施設を活用したビジターセンター総売上額、②イベント参加人数、③ガイド育成人数の3つをKPIとして設定している。

指 標	基準値 令和元 (2019) 年度	実績値 令和3 (2021) 年度	目標値 令和5 (2023) 年度	目標値 令和6 (2024) 年度
「八ヶ峰家族旅行村」と「ホテル流星館等」の既存施設を活用したビジターセンター総売上額	80,849千円	52,492千円 【28,357千円減】	82,649千円 【1,800千円増】	83,449千円 【2,600千円増】
イベント参加人数（累計）	0人	11人	240人	340人
ガイド育成人数（累計）	0人	0人	10人	10人

※基準値（令和元年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の数値

2. 令和3年度の事業実施状況について

名田庄トレイルコーディネート事業の初年度にあたり、名田庄地域を周回するメインルートやアプローチルートの調査・整備および、トレイルツアーの実施、地域の人材育成等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ビジターセンターへの観光入込客数自体が減少。また行動制限の影響などで、トレイルツアーは小規模なトレイルハイク1回の実施となり、ガイド育成にまでは至らなかった。

3. 令和4年度の状況について

新型コロナウイルス感染症拡大（第6波）の影響で、年度当初は影響が大きかったが、ウィズコロナの流れの中で、「八ヶ峰家族旅行村」「ホテル流星館等」の各施設とも6月末現在の観光入込客数は増加傾向にある。

9月からはトレイルツアーを複数回実施する計画であり、イベント参加人数も期待したい。

地域の関係者や愛好家等との連携を図ることで人材育成に努め、ガイド育成人数を確保していきたい。

コロナ禍以前の数値を基準値にしていることから、今後も新型コロナウイルス感染症の状況にかなりの影響を受けると予想されるが、感染対策を徹底しつつ令和6年度末の目標達成に努めたい。